

ときわ木



感謝いっぱいの弥生三月

常盤小・中購買 閉店

3月4日(月)、長年、常盤小・中学校の子どもたちの学用品の不足を補い続けた身近な「購買」が閉店しました。中学校の先生方が1か月前から閉店セールを行ってくださり、そこには閉店を惜しむ子どもたちで人だかりができました。购买前に掲げられた「ありがとうございました」の看板に向かって、思わず「こちらこそありがとうございました」と頭を下げたくなりました。

「常盤小学校」の名札は、年度末に1枚ずつ子どもたちに渡します。来年度になってから、紛失してしまった場合は、担任にお知らせください。学校で保存している物があるので販売できます。

6年生を送る会

2月22日(金)6年生を送る会。最後に全校みんなで「またあえる日まで」を歌っている時のこと、低学年の子どもたちが6年生の側に駆け寄り抱きついたことをきっかけに、全校の子どもたちが6年生の周りに集まり、泣いている子ども手を握っている子ども・・・。6年生が、5年生以下の子どもたちにとって、本当に大事な存在であったことが分かりました。来年度からは、中学生は側にいませんが、離れてもずっと応援しています。6年生のみなさん、ありがとう。



2月26日(火)、今年度一年間お世話になった外国語活動支援員の嶋田久美子先生とのお別れセレモニーを行いました。大らかでいつも笑顔の嶋田先生のおかげで5・6年生は外国語がとても好きになりました。上の写真は最後の記念に撮影したものです。「Thank you kumiko」のスペルがみえるでしょうか。

2月26日(火)、保護司の簾内さんが来校し、6年生に手作りのティッシュケースをプレゼントしてくださいました。子どもたちは、目を輝かせてたくさんのティッシュケースの中から好きな柄を選んでいました。自分たちを応援して下さる人がこんなにもたくさんいるということをお忘れずに巣立ってほしいと思います。



3月1日(金)今年度最後のPTAが行われました。授業参観では、4年生の教室で3月に定年退職を迎える納谷宜直先生へ子どもたちからメッセージが送られました。「私たちが、納谷先生の最後の教え子です。」その言葉にぐっときた納谷先生は「あと2週間あるからな。」と、照れ笑いをしていました。学校は、人と人の繋がりを実感できる場だと改めて幸せに思いました。全体会では、養護教諭の安部恵先生が、睡眠時間の重要性等を説明しながら、「一人一人その子にあった成長ができるように願いながら仕事をしています。」とつぶやきました。ここから巣立つ中学生も小6の卒業生も大きな学校にいても、心も体も逞しく健やかに成長してほしいと心から願っています。

ありがとう！
ずっと忘れないよ！



福土叶華さん



藤岡陽晟さん



桐越きりりさん



幸坂雄次さん



工藤茉琳さん



大高光雲さん